

通信・ITネットワークの分野では、日々新しい技術が開発され、より効率的で、より安価なサービスが次々と生み出されています。知らないことは、イコール企業利益の損失です。そこで私たち大和電設工業は、情報通信やITソリューションの『知って得する最新情報』を、お世話になっている皆様に定期的にお伝えしていきます。隔月発刊のDDK通信、ぜひお楽しみください。

## 緊急時の連絡手段確保と効率化UP！

最近、地震や豪雨などによる災害や事故が多発していますが、その様な緊急時に連絡を取り合う手段や、安否確認を取る必要性を感じられたことはありませんか。災害時や事故の時の連絡手段の確保はとても重要です。その事を再認識し、今回はどうすればその様な有効な仕組みが実現できるのかを考えてみたいと思います。

### ■ 緊急時連絡

緊急時の連絡方法として、担当者が一人ひとりに連絡をすれば確実なのですが、担当者が何らかの理由で連絡できない事も考えられます。その場合は、何らかの装置に頼らざるをえません。

機器故障や、火災通報装置の発報などで、接点信号を送る事で一斉に又は順番に登録先へ連絡を入れる事ができる装置が販売されています。

一般的には登録先に順番に連絡を入れますが、相手が通話中や留守の場合は次の登録先に連絡する様になっています。

ここで懸念されるのが、相手が留守番電話の場合、装置は連絡完了と思ってしまい、相手に確実に連絡が伝わっていない事が考えられ心配です。

これを防ぐには、連絡を受け取った人から何らかの返事を貰う様にすれば良く、何かダイヤルを返してもらい、装置に連絡完了を認識させる事ができます。

緊急情報伝達システム  
おつたえ君ARS-800



話し中や、留守の場合などは、追っかけて違う通知先へ発信します。



1番目の連絡先へ

2番目の連絡先へ

3番目の連絡先へ

携帯電話へ連絡



会社へ連絡



自宅へ連絡



### ■ 安否確認や緊急出動要請

片方向だけの連絡だけでなく、アナウンスを聞いた後、ガイダンスに従って該当する選択肢のダイヤルを押して、返信する事ができれば、双方の意志疎通が行え、より効率的に対策等をとる事ができます。

また、電話連絡だけでなく、メールによる方法でも同じような仕組みを作ることができれば、より手段が増え、用途に応じて有効かつ効果的に連絡をとれるようになります。さらに緊急メールに返信用の選択肢を付けて、どちらかを選んで返信してもらおうと相手の状態も確認する事ができます。

緊急情報伝達システム  
おつたえ君ARS-800

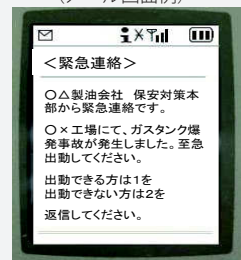


メール送信

メール返信



(メール画面例)



いち早く対策本部設置

責任者・社員へ緊急連絡

出勤



社員の安否状況の把握  
業務再開の検討



社員の安否情報収集

事件発生

